



## 記者発表資料

令和8年2月24日(火)

### 日高市

日高市立保健相談センター 保健相談担当

TEL042-985-5122

所長 大野 雅司

担当者職・氏名 主幹・田中 恵美

## 「健幸のまち」の実現に向けた取り組み

妊娠期から出産、その後の子育てまでを切れ目なく支援するため、新たな取り組みを開始または拡充し、市民が、令和3年度に行った「健幸のまち」宣言が目指す「健康で、生き生きと、幸せに暮らせるまち」を実感できるよう取り組みます。

### 産婦健康診査の充実

#### 4 安心出産支援事業（拡充）

現在実施している、産後1か月で受診する産婦健康診査に、産後2週間で受診する追加の産婦健康診査への助成を開始し、母体の心身回復および育児不安の軽減を図ることにより、母子が穏やかな日常を送ることができるよう応援します。

また、償還払いによる助成制度も提供し、里帰り先等でも受診できるよう支援します。

### 1 か月児健康診査への助成及び幼児歯科健診の開始

#### II 乳幼児支援事業（拡充）

「1か月児健康診査」への助成を開始し、乳児の疾病および異常を発見するとともに、助言の提供や医療への速やかな引き継ぎを行うなど、出産直後からの関わりを通じて、乳児が健やかに成長できるよう支援します。

また、昨年度に制定した「歯科口腔保健の推進に関する条例」の主旨を踏まえ、2歳児を対象として行ってきた歯の教室を幼児までに拡大し、フッ素塗布も同時に行う「幼児歯科健診」として新たに開始します。

## 妊婦に対するRSウイルスワクチン接種費用の助成を開始

### 12 予防接種事業（新規）

新生児や乳児が、RSウイルスに感染することによって発症する気管支炎やその重症化を防ぐことを目的として、妊娠28週から37週に至る前の妊婦を対象とするRSウイルスワクチンを、全額公費で負担する定期接種として開始します。

また、里帰り先等で接種を受ける妊婦に対し、償還払いによる助成制度も提供し、新生児期の発症を予防して健やかな成長を支援します。

## 電子母子手帳の導入

### 13 安心出産支援事業（新規）

将来、全国的な導入とその活用が見込まれている「電子母子手帳」を導入し、健診や予防接種の受け忘れを防止する「プッシュ通知機能」の提供等を通じて、妊娠から育児までの期間を手厚くサポートします。

また、さまざまなベンダーから電子母子手帳（アプリケーション）の提供が開始されていることから、市民が利用しやすいアプリケーションが選択できるよう、情報収集を行います。

なお、当面の間、現在の紙の母子健康手帳と併用することとなる予定です。